



海外作家賞 金 寧万 (キム・ニヨンマン) さん



会場周辺のストリートギャラリーは札幌等からきた学生たちの手で演出されている。

多くのボランティアに支えられて今年も、多くの町民を始め町外の人たちによるボランティアに支えられて、無事写真の町のメインとなる行事が終了しました。

イベントに関係された全ての皆様に、心よりお礼申し上げます。写真の町企画委員の皆様を始め、どんとこい祭り・羽衣音楽祭の実行委員会の皆さんを筆頭に、以下の皆さんにご支援ご協力をいただきました。

フォトフェスタフレンズ/東川イベントサポートクラブ/ホームス

ティボランティアの会/羽衣太鼓/氷土会/みずほコーラス/写真甲子園OG/東川高校OG/東川高校/美瑛高校/上富良野高校/旭川工業高校/道都大学/東川町婦人連絡協議会/JAひがしかわ女性部/商工会女性部/家族の健康を守る主婦の会/消費者協会/ハープフレンドの会/花本建設株式会社/一般応募の町民ボランティアの方々、北海道録画センター/オーラス研究所の皆さんおよびその他個人でお手伝いくださった方々

写真甲子園事業に宝くじ助成金
写真甲子園2005事業のうち、本町では高校生ワークショップ事業として、講演会及び写真教室の開催、モノクロ・デジタル写真教室の開催、立木義浩写真展の開催などの事業を計画し、財団法人地域活性化センターの活力ある地域づくり支援事業(宝くじ助成事業)を得て実施しています。講演会では、世界のモンベルの社長で、伝説の冒険家「辰野勇」氏を迎えて特別講演会を実施しました。また、高校生を対象とした写真教室として、写真家「榎並悦子」さんによる高校生セミナーを実施し、併せて7月26日・27日にかけてモノクロ写真教室を、8月7日にはデジ



今年も多くの町民皆様の協力によりすばらしいイベントをつくりあげることができました。

タル写真教室をそれぞれ開催しています。これに関連して、デジタル一眼レフカメラについても10台購入し、今後の高校生及び一般町民に対する教育に役立てていく考えです。

また、今後の事業として、同じく宝くじ助成事業により、立木義浩先生の写真展を11月に開催すべく準備を進めているところです。



宝くじは 豊かさ築く チカラ持ち。
宝くじは、広く社会に役立てられています。



新人作家賞 小樽山賢二さん(左)と特別賞 鈴木涼子さん(右)



フォトフェスタ2005
今年のフォトフェスタは、21年目を迎え、随所に工夫と変革を実施し、町民の代表としてイベントなどにかかわる写真の町企画委員の自主的な企画・運営により無事に終了することができました。

今年、海外作家賞を受賞したキム・ニヨンマン氏が、韓国よりツアーを組んで28名の写真家や友人らと同行し、本町の国際交流協会や日韓交流協会の会員と交流しました。

昨年に引き続き、大学生を中心とする自主的なイベント参加や道内の写真家や写真愛好者など百数十名が集い、野外写真展示や写真と音楽のコラボレーション・カメラアングルなど親しみのある事業を実施しながらどんとこい祭りとの連携を図るなど、本町の写真の



樋浦ファームギャラリー

祭典を盛り上げていただきました。また、西2号の青木哲也さん、西10号の樋浦哲夫さんが農家の納屋を利用したファームギャラリーを開設し、農作業の四季を写した写真や子供の農業体験を写した写真を展示し好評をえています。

文化ギャラリーでは、東川賞授賞作家作品展と同時に、写真インディペンデンス展、東川こども写真展が開催されるとともに、写真に対するプロのアドバイスが貰えるニコニコナ21ポートフォリオレヒューが開催されました。

また、道草館では、道内在住写真家によるMYカメラアングル写真展や写真家林敏広氏のピンホール写真展、中国写真展が開催。同時開催された東川どんとこい祭りでは、7月30日には、仮装パレードに引き続き花火大会が行われ、31日にはキッズステージ・ふたりはプリキュアマックスハートなりきり撮影会・カブトボーグサマーカップ05・ものまねタレント歌麿呂シヨウ・ラリーdeピンゴ・ライブシヨウ・もちまき大会など盛りだくさんのイベントが開催されました。

例年、どんとこい祭りと同時間催であった、「羽衣音楽祭」は、本年10回目という節目の年であり、翌週の8月7日に開催され、町内外から12を越えるバンドが参加して、700名余りの観衆が演奏に酔いしれて聞き入りました。



国内作家賞 小山穂太郎さん

